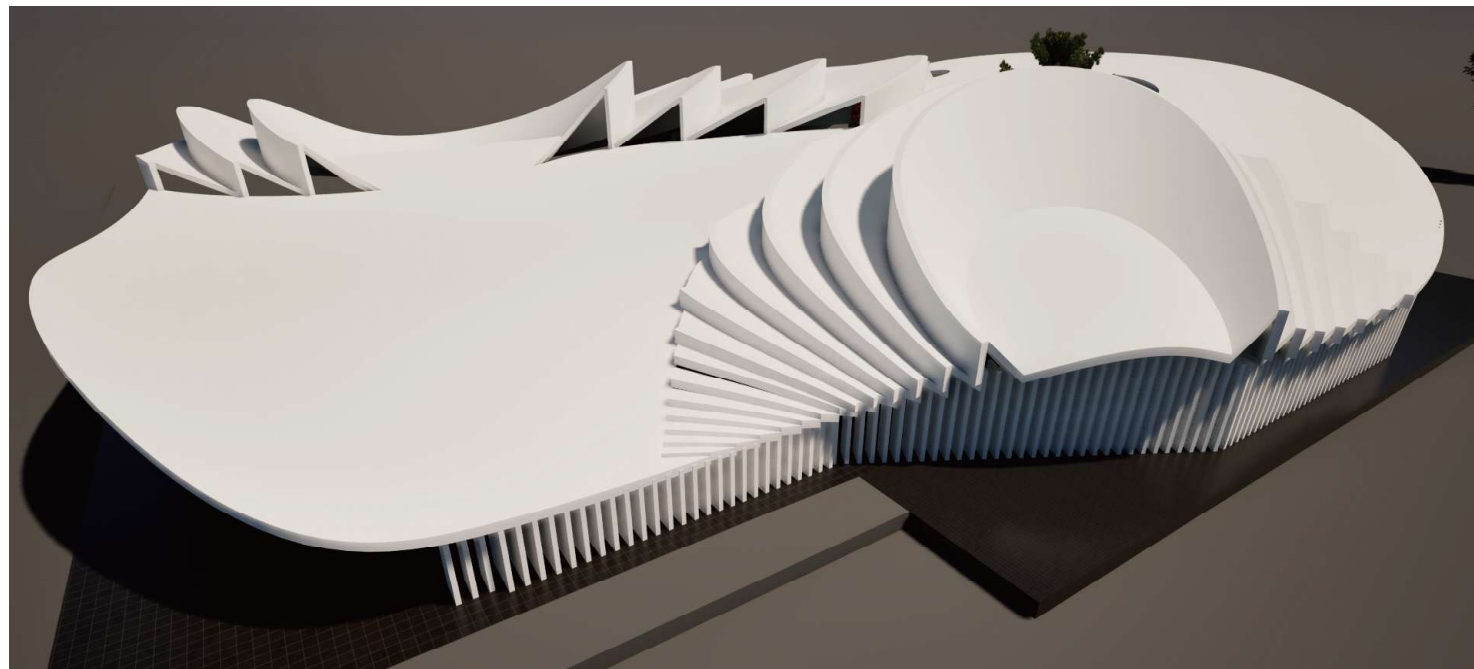
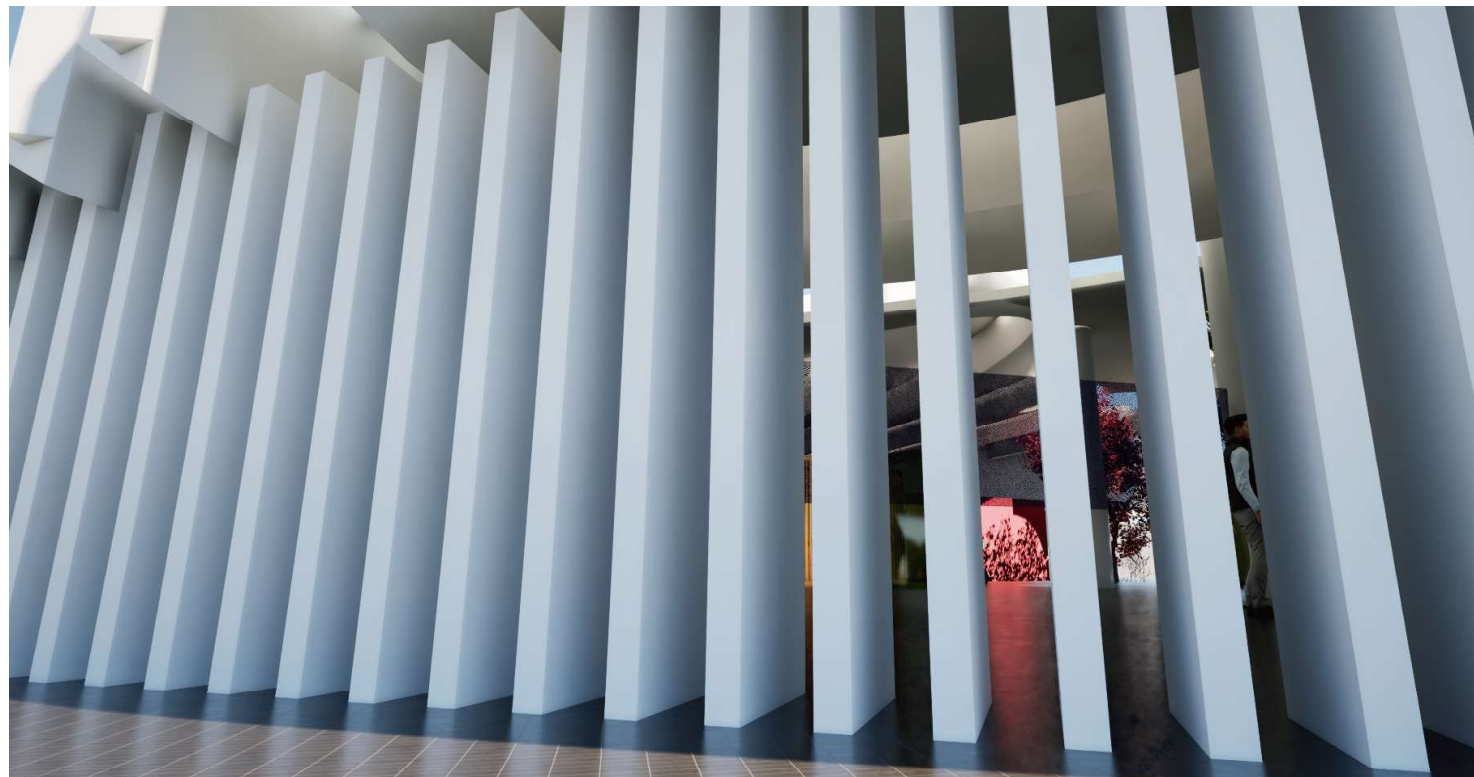


視点からの複数の直線が屋根のギザギザの形状を形成する。その視点からギザギザを見ると垂直の壁のみが見え、見るべき視点に人々を誘導する。



格子は視線を制限するため、歩みを進めるごとに新しい景色が目に入る。



衝立の合間を縫って自然と導線とたまり場が浮かび上がる。



町家などみられる中庭も、重なりの要素の一つである。植栽は人が生み出せない独特の要素を場に追加する。



暖簾は空間を区切りつつ移動を損なわないことで場同士を緩やかにつなぐ。